

振興会だより

令和7年8月28日発行
編集・発行 振興会
羽田地区センター
羽田地区

クトチーム会議が開催されました。市から佐藤訓久未来羅針盤課上席主任が、オブザーバーとして振興会長、センター長が出席しました。

振興会プロジェクトチーム

第1回会議 8月5日(火)開催

6月末〜7月初めにかけて、振興会プロジェクトチームのメンバーを募集しました。その結果、10名のメンバーが揃いました。

以下、行政区番号順に、氏名(敬称略)、行政区名を記します。

太田和美 羽田中央
及川円佳 田茂山
大瀬悠太郎 田茂山
後藤顕太 川前
高橋賢 川前
佐藤卓也 東町
菅原理恵 東町
栗田誠 東町
小野寺悠良 芦ヶ沢
小野寺浩和 北鶴ノ木
以上のメンバー10名は、全員、20代の方たちです。

8月5日(火)18時30分から、地区センターにおいて、第1回プロジェクト

会議は、最初に自己紹介をした後、佐藤訓久氏から、水沢江刺駅周辺エリアプロジェクトの開発基本構想(案)に関して、その概要について微に入り細を穿つ説明がありました。確実に押さえておかねばならないこととして、水沢江刺駅開業から40年経過した現況を踏まえると、民間投資の呼び込み以前に、市・地区が何らかの仕掛けをする必要があるという説明のくだりは、説得力のあるものでした。次回は9月に開催されます。



行政区長協議会 久保公園生垣剪定

8月7日(木)早朝の5時半から、小雨が混じる中、地区センター向かいの久保公園を、行政区長協議会の皆さんに整備していただきました。公園敷地を囲む生垣の剪定を約2時間かけて行っていました。設置者管理主義の原則の下、市は年3回の草刈りをシルバー人材センターに委託して行っています。しかし、その他には、予算的に手をかけることができないといえます。そんな状況下にあつて、区長会は毎年、この整備を実施しております。

地区要望意見交換会

令和7年度地区要望意見交換会が、7月29日(火)本庁講堂において開催されました。小野寺茂美会長、菊池久美子副会長、佐藤庄治郎地区センター長の3名が出席しました。この意見交換会は、地域と行政が地域課題を共有し、地域が主体的に地域運営に係わること、行政が関与すべきものについて適切に市政に反映させることを目的としています。追加の2項目を含めて12項目中、

頭の下がる思いを禁じえません。

地区センターからは、センター長が参加し一緒に作業させていただきました。



この公園の正式名称は、奥州市久保公園(設置者は奥州市)といい、羽田中央行政区に立地しています。

東町の横断歩道のライン引き直しは交通安全協会に係わることということで、11項目に係る意見交換となり、熱のこもったものとなりました。

出羽神社に通じる道路の簡易舗装工事は、既に実施されました。また追加の1項目は、県に回付するという言質を得ております。そして、久保公園の樹木伐採については、今年度予算措置を講ずる予定という説明を受けましたので、来年度から実施される公算が濃厚となりました。なお、市からの回答は、10月中旬に地区センターに届く予定です。

敬老会地区全体では開催せず

奥州市社会福祉協議会水沢地域福祉推進協議会羽田支部(支部長 佐藤弘美)は、7月11日(金)の協議会で、今年度は、敬老会を地区全体では開催しないことを決定しました。これは、昨年度並みの規模で開催しますと、約70万円不足することに

断を迫られたことによるものです。協議会に先立つ理事会では、何とかして地区全体での開催は出来ないものか、様々な角度から検討に検討を重ねましたが万策尽きました。従いまして、開催の可否を含めて各行政区に委ねざるをえません。

なる、という事態を勘案しての苦渋の決

社福羽田支部視察研修

奥州市社会福祉協議会水沢地域福祉推進協議会羽田支部(支部長 佐藤弘美)は、6月30日(月)に、2、3月に大規模山林火災に見舞われた大船渡市赤崎地区、綾里地区を視察する研修を実施しました。

この研修には、民生児童委員協議会から13名、行政区長協議会から6名、地区センターからセンター長1名、計20名が参加しました。

“百聞は一見に如かず”。テレビで放映される光景とは全く異なる光景を見て、息を吞まざるを得ない現実が目前に迫り、今後、この地区の山林は再生されるのだろうかとか大きな疑問と不安が湧いてきました。

さらに、集落に目を移すと、風で飛ばされてきた火の粉で全焼した

家、何の被害も無い家が隣接する現実を

見て、何とも言えない息苦しさを覚えました。生業としての漁具等を焼失した皆さんのことを想うと、これまた嘆息せざるを得ませんでした。

1日も早い復興を願ひ、帰路に就きました。

なお、

民児協の皆さんが分担し当日の全行程を取り仕切ってくださいました。



有志による社会奉仕活動

小学校通学路整備

8月17日(日)午前6時から、有志により1時間ほどをかけて、羽田小学校の通学路(学校の北側のなかよし橋、神橋2方向から北側の校門まで)を整備しました。

これは、5月の学校運営協議会で右記の通学路の整備が追い付かない状況との説明を受けてのことです。児童が登下校の際に利用する通学路を地区で整備することで、結果として、児童の羽田に対する帰属意識の高揚にもつながると考えました。



阿弓流為・母禮慰霊碑建立20周年記念慰霊祭

アテルイを顕彰する会(会長 彦公一)は、阿弓流為・母禮慰霊碑建立20周年を記念して、慰霊祭を開催します。概要、左記のとおり

日時 9月17日(水)午後2時
場所 阿弓流為・母禮慰霊碑前
内容 神事ほか

碑は、羽黒山出羽神社の西側に立地します。よって、羽田地区の方々にも参加していただきたいとのこと、詳細は、追って配付されるチラシをご覧ください。

自治協議会山林火災見舞金

羽田地区自治協議会(会長 細川元)は、大船渡市に、2、3月の大規模山林火災に係る見舞金四万五千五百五十円を、直接手交しました。

これは、6月末で日本赤十字社等の義援金受付が終了したことに伴うもので、7月14日(月)に、佐藤松見副会長が大船渡市役所に出向き、担当課に見舞金を直接手渡しました。なお、自治協議会は、2月に能登水害に見舞金を贈呈しております。